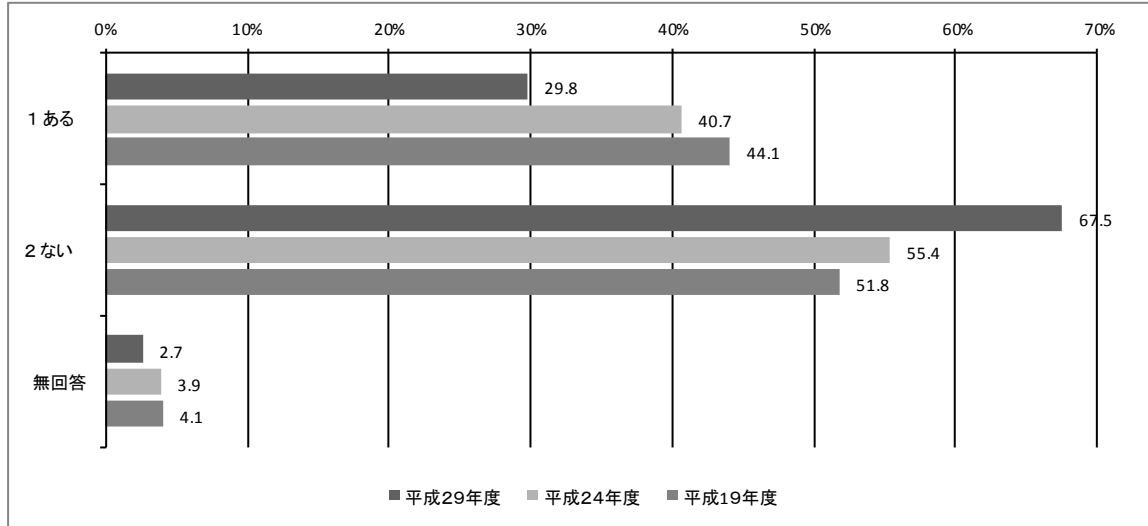


5 人権尊重社会実現への取組

(1) 講演会・研修会に関する意識

問 2 6 人権に関する講演会などへ参加したことがありますか。(〇はいくつでも)



■人権に関する講演会などへの参加状況

(%)

分類	合計 (人)	1 ある	2 ない	無回答	
総数 (N)	1,012	29.8	67.5	2.7	
性別	男性	527	29.2	68.7	2.1
	女性	462	31.2	67.1	1.7
	不明	23	17.4	47.8	34.8
年齢別	18～19歳	2	50.0	50.0	-
	20～29歳	48	22.9	72.9	4.2
	30～39歳	123	22.8	77.2	-
	40～49歳	156	34.6	65.4	-
	50～59歳	133	41.4	57.9	0.8
	60～69歳	230	36.5	61.3	2.2
	70～79歳	182	25.3	72.0	2.7
	80歳以上	115	16.5	78.3	5.2
不明	23	17.4	47.8	34.8	

【回答傾向】

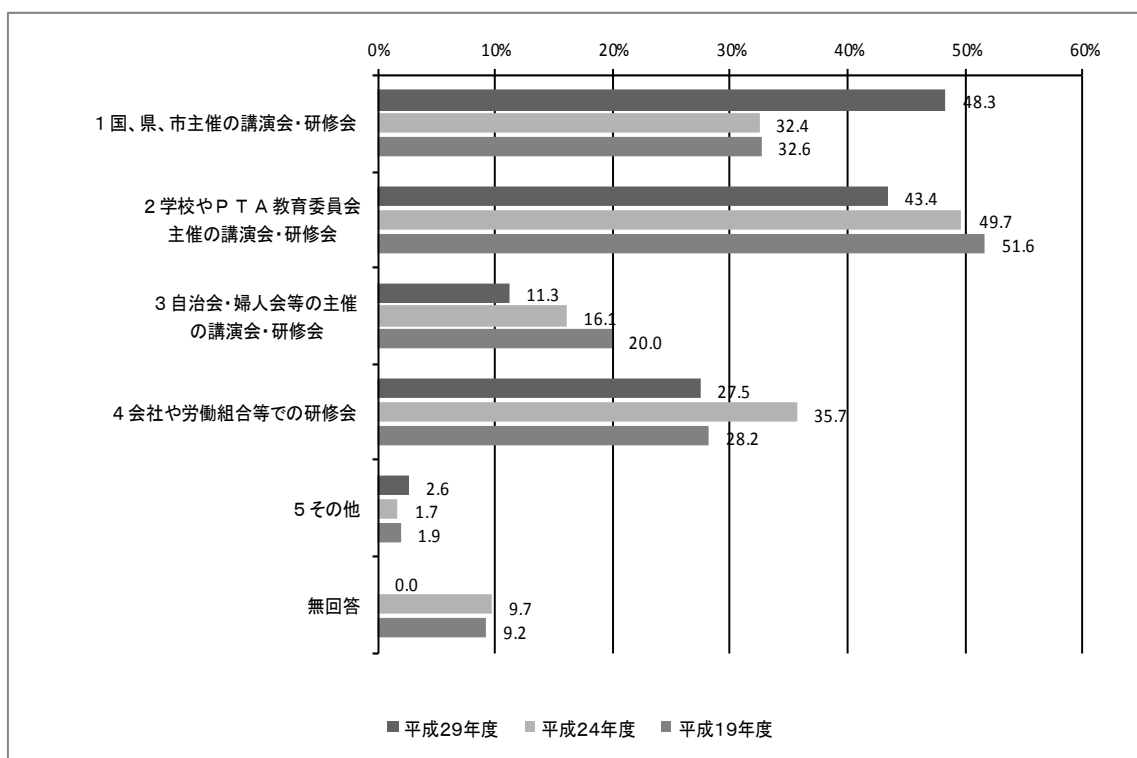
人権に関する講演会などへ参加について、「2 ない」は67.5%と過半数を超え、「1 ある」は29.8%となっている。

性別で見ると、「1 ある」は女性が31.2%、男性が29.2%と男性より女性の割合が高くなっている。

年齢別で見ると、「1 ある」は10歳代が50.0%と最も高くなっていて、一方、80歳以上は割合が低く16.5%となっている。

【分析】

問26-1 問26で1を選ばれた方にお尋ねします。参加した講演会などはどちらの主催のものでしたか。(〇はいくつでも)



■参加した講演会

(%)

分類		合計 (人)	1 国、県、市主 催の講演会・ 研修会	2 学校やPTA 教育委員会 主催の講演 会・研修会	3 自治会・婦人 会等の主催 の講演会・研 修会	4 会社や労働 組合等での 研修会	5 その他	無回答
総数 (N)		302	48.3	43.4	11.3	27.5	2.6	-
性別	男性	154	56.5	30.5	8.4	33.8	1.9	-
	女性	144	41.0	57.6	13.9	19.4	3.5	-
	不明	4	-	25.0	25.0	75.0	-	-
年齢別	18～19歳	1	100.0	-	-	100.0	-	-
	20～29歳	11	45.5	81.8	-	27.3	-	-
	30～39歳	28	32.1	53.6	14.3	28.6	3.6	-
	40～49歳	54	40.7	61.1	1.9	16.7	7.4	-
	50～59歳	55	52.7	40.0	1.8	38.2	-	-
	60～69歳	84	48.8	33.3	11.9	32.1	1.2	-
	70～79歳	46	56.5	37.0	23.9	17.4	4.3	-
	80歳以上	19	68.4	31.6	31.6	15.8	-	-
不明	4	-	25.0	25.0	75.0	-	-	

【回答傾向】

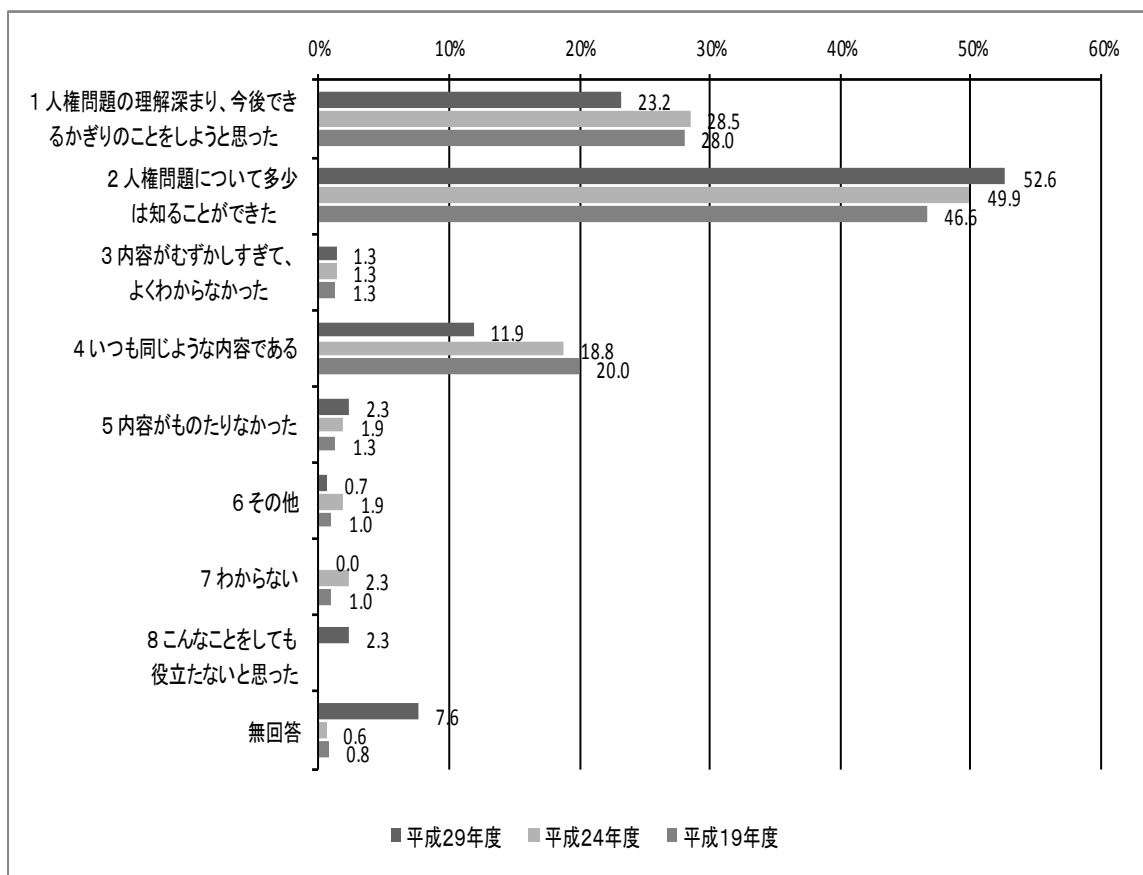
人権に関する参加した講演会などの主催について、「1 国、県、市主催の講演会・研修会」が48.3%と最も多く、次いで、「2 学校やPTA教育委員会主催の講演会・研修会」が43.4%、「4 会社や労働組合等での研修会」が27.5%、「3 自治会・婦人会等の主催の講演会・研修会」が11.3%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 国、県、市主催の講演会・研修会」(男性：56.5%、女性：41.0%)、「4 会社や労働組合等での研修会」(男性：33.8%、女性：19.4%)となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「2 学校やPTA教育委員会主催の講演会・研修会」(女性：57.6%、男性：30.5%)、「3 自治会・婦人会等の主催の講演会・研修会」(女性：13.9%、男性：8.4%)となっている。

年齢別でみると、20歳代は「2 学校やPTA教育委員会主催の講演会・研修会」が81.8%、「3 自治会・婦人会等の主催の講演会・研修会」は80歳以上が31.6%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問26-2 問26で1を選ばれた方にお尋ねします。その内容について、どのように評価しますか。
(○は1つだけ)



■参加した講演会などの内容の評価

(%)

分類	合計(人)	1 人権問題の理解深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った	2 人権問題について多少は知ることができた	3 内容がむずかしすぎて、よくわからなかった	4 いつも同じような内容である	5 内容がものたりなかった	6 その他	7 わからない	8 こんなことをしても役立たないと思った	無回答	
総数(N)	302	23.2	52.6	1.3	11.9	2.3	0.7	-	2.3	7.6	
性別	男性	154	27.9	44.8	1.3	15.6	1.9	1.3	-	3.2	5.8
	女性	144	18.8	60.4	1.4	7.6	2.8	-	-	1.4	9.0
	不明	4	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0
年齢別	18~19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	11	45.5	54.5	-	-	-	-	-	-	-
	30~39歳	28	21.4	67.9	-	-	-	3.6	-	-	7.1
	40~49歳	54	29.6	51.9	-	7.4	1.9	-	-	5.6	3.7
	50~59歳	55	10.9	52.7	1.8	18.2	1.8	1.8	-	1.8	10.9
	60~69歳	84	26.2	52.4	1.2	9.5	2.4	-	-	2.4	8.3
	70~79歳	46	21.7	47.8	-	19.6	4.3	-	-	2.2	8.7
	80歳以上	19	21.1	42.1	10.5	21.1	5.3	-	-	-	5.3
不明	4	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	

【回答傾向】

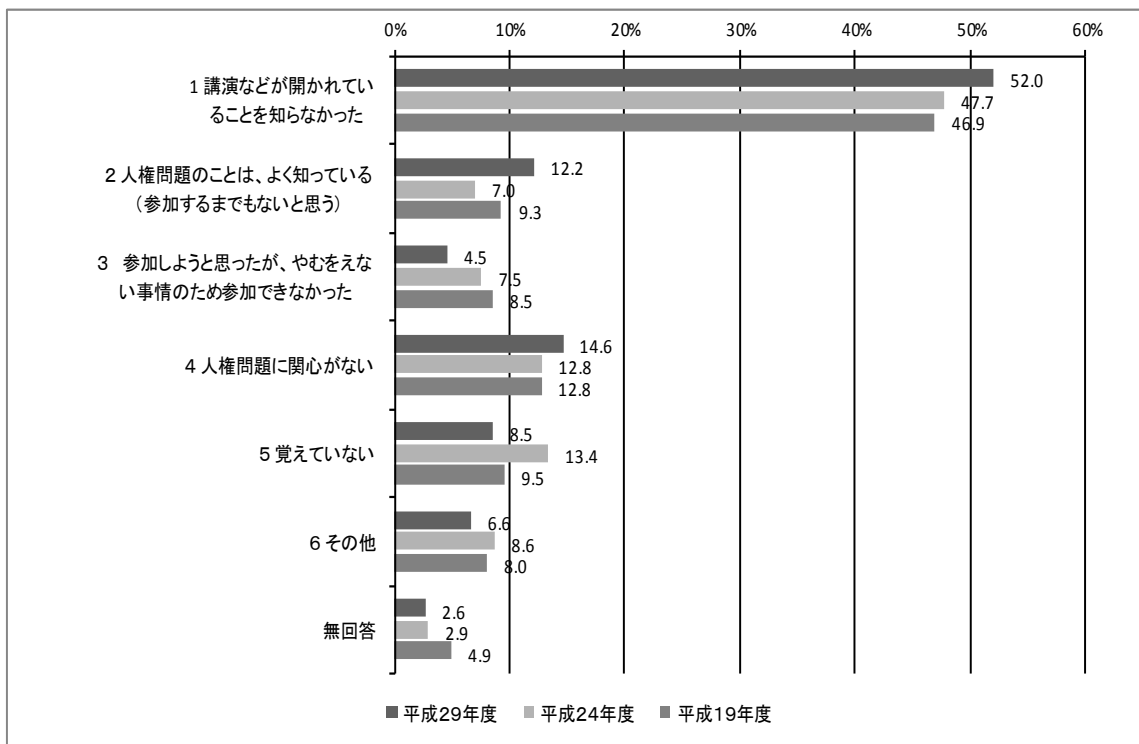
参加した講演会などの内容の評価について、「2 人権問題について多少は知ることができた」が52.6%、「1 人権問題の理解深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った」が23.2%で、これらを合わせると75.8%となっている。また、「4 いつも同じような内容である」は11.9%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 人権問題の理解深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った」（男性27.9%、女性18.8%）、「4 いつも同じような内容である」（男性15.6%、女性7.6%）、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「2 人権問題について多少は知ることができた」（女性60.4%、男性44.8%）となっている。

年齢別でみると、「2 人権問題について多少は知ることができた」は30歳代で67.9%、「4 いつも同じような内容である」は80歳以上で21.1%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問26-3 問26で2を選ばれた方にお尋ねします。どのような理由から参加しませんでしたか。
(○は1つだけ)



■人権に関する講演会などに参加しなかった理由

(%)

分類	合計 (人)	1 講演などが 開かれている ことを知ら なかった	2 人権問題の ことは、よく 知っている (参加するま でもないと 思う)	3 参加しようと 思ったが、や むをえない 事情のため 参加できな かった	4 人権問題に 関心がない	5 覚えていな い	6 その他	無回答	
総数 (N)	683	52.0	12.2	4.5	14.6	8.5	6.6	2.6	
性別	男性	362	53.9	14.4	3.9	14.1	7.7	5.5	1.7
	女性	310	49.7	9.7	5.2	14.8	9.7	8.1	3.5
	不明	11	54.5	9.1	9.1	27.3	-	-	9.1
年齢別	18～19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	35	65.7	11.4	-	11.4	11.4	-	-
	30～39歳	95	48.4	10.5	2.1	17.9	10.5	9.5	1.1
	40～49歳	102	53.9	2.9	4.9	23.5	6.9	7.8	1.0
	50～59歳	77	48.1	13.0	5.2	14.3	6.5	13.0	1.3
	60～69歳	141	59.6	8.5	3.5	12.8	7.1	7.1	2.8
	70～79歳	131	50.4	17.6	6.1	12.2	9.9	2.3	2.3
	80歳以上	90	42.2	22.2	6.7	6.7	10.0	5.6	7.8
不明	11	45.5	9.1	9.1	36.4	-	-	9.1	

【回答傾向】

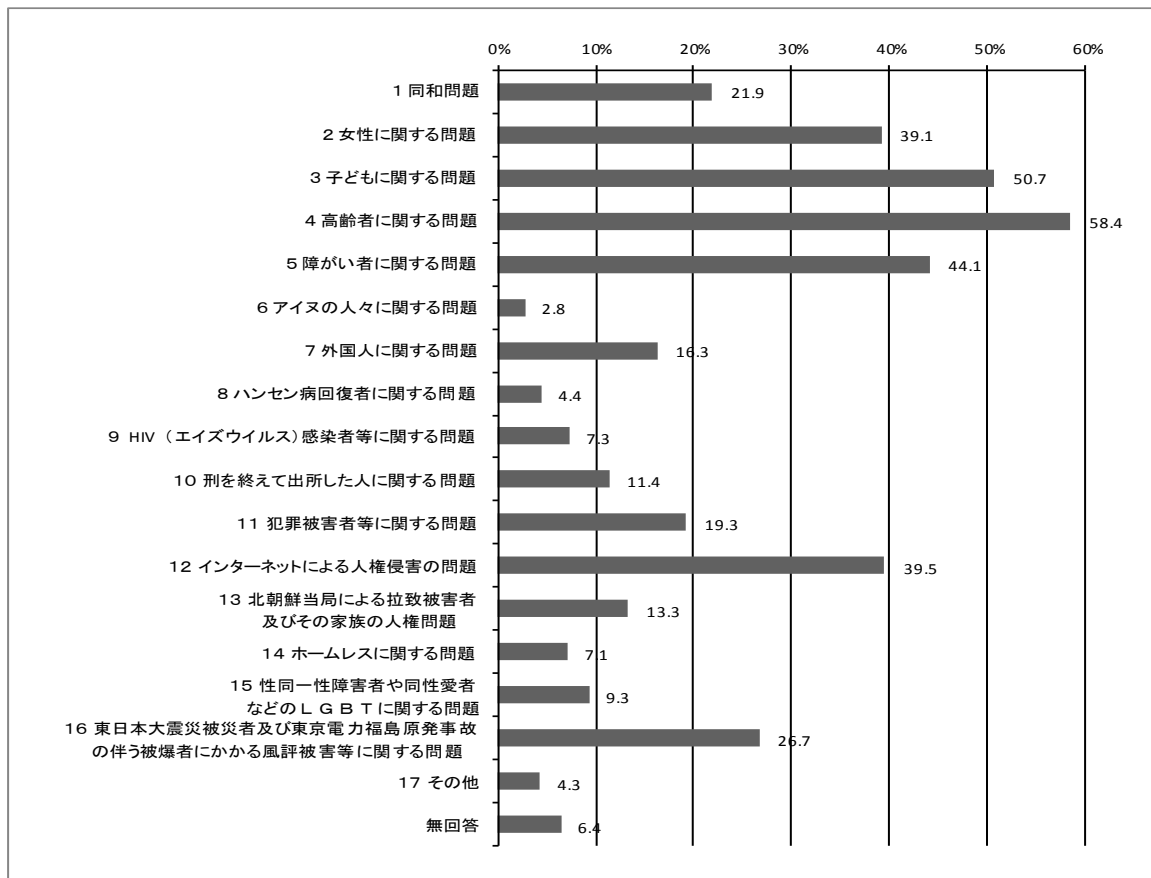
人権に関する講演会などに参加しなかった理由について、「1 講演などが開かれていることを知らなかった」が52.0%と最も多く、次いで、「4 人権問題に関心がない」が14.6%、「2 人権問題のことは、よく知っている (参加するまでもないと思う)」が12.2%、「5 覚えていない」が8.5%、「3 参加しようと思ったが、やむをえない事情のため参加できなかった」が4.5%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 人権問題のことは、よく知っている (参加するまでもないと思う)」(男性：14.4%、女性：9.7%)、「1 講演などが開かれていることを知らなかった」(男性：53.9%、女性：49.7%)であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「5 覚えていない」(女性：9.7%、男性：7.7%)、「3 参加しようと思ったが、やむをえない事情のため参加できなかった」(女性：5.2%、男性：3.9%)となっている。

年齢別でみると、10歳代は「1 講演などが開かれていることを知らなかった」100%、80歳以上は「2 人権問題のことは、よく知っている (参加するまでもないと思う)」22.2%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問26-4 みなさんにお尋ねします。今後どのような人権課題に関する内容ならば参加したいと思いますか。(5つ〇をつけてください。)(新設)



■参加したい人権課題に関する内容

(%)

分類	合計 (人)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		同和問題	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がい者に関する問題	アイヌの人々に関する問題	外国人に関する問題	ハンセン病回復者に関する問題	HIV(エイズウイルス)感染者等に関する問題	
総数 (N)	1,012	21.9	39.1	50.7	58.4	44.1	2.8	16.3	4.4	7.3	
性別	男性	527	27.3	28.3	50.1	59.8	45.5	3.4	19.7	5.7	9.3
	女性	462	16.5	52.2	51.7	56.7	42.9	1.9	12.3	3.0	5.4
	不明	23	8.7	26.1	43.5	60.9	34.8	4.3	17.4	4.3	-
年齢別	18~19歳	2	50.0	100.0	100.0	-	100.0	-	50.0	-	-
	20~29歳	48	20.8	60.4	66.7	35.4	29.2	-	27.1	6.3	6.3
	30~39歳	123	22.8	47.2	66.7	31.7	30.9	3.3	15.4	4.9	9.8
	40~49歳	156	26.9	49.4	53.2	41.7	42.9	3.2	19.2	5.1	6.4
	50~59歳	133	19.5	39.8	48.1	61.7	45.9	3.0	18.0	5.3	9.0
	60~69歳	230	21.3	40.9	54.8	66.1	51.3	2.6	15.2	3.0	8.3
	70~79歳	182	25.8	26.4	37.9	73.6	45.6	2.7	15.9	4.4	4.4
	80歳以上	115	15.7	24.3	38.3	77.4	47.8	2.6	9.6	4.3	8.7
不明	23	4.3	30.4	47.8	56.5	34.8	4.3	13.0	4.3	-	

分類	合計 (人)	10	11	12	13	14	15	16	17	無回答	
		刑を終えて出所した人に関する問題	犯罪被害者等に関する問題	インターネットによる人権侵害の問題	北朝鮮当局による拉致被害者及びその家族の人権問題	ホームレスに関する問題	性同一性障害者や同性愛者などのLGBTに関する問題	東日本大震災被災者及び東京電力福島原発事故に伴う被爆者にかかる風評被害等に関する問題	その他		
総数 (N)	1,012	11.4	19.3	39.5	13.3	7.1	9.3	26.7	4.3	6.4	
性別	男性	527	12.3	23.0	40.6	15.0	8.3	7.6	27.5	3.6	4.9
	女性	462	10.6	14.9	39.0	11.7	6.1	11.7	25.1	5.4	6.9
	不明	23	4.3	21.7	26.1	8.7	-	-	39.1	-	30.4
年齢別	18～19歳	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	18.8	12.5	45.8	6.3	10.4	29.2	25.0	-	6.3
	30～39歳	123	13.8	18.7	48.8	7.3	8.9	18.7	22.8	6.5	1.6
	40～49歳	156	11.5	17.9	51.9	9.0	3.8	16.0	23.7	4.5	1.3
	50～59歳	133	8.3	22.6	50.4	15.0	5.3	11.3	24.1	4.5	5.3
	60～69歳	230	8.7	24.3	41.7	15.7	7.8	4.8	30.0	3.0	7.0
	70～79歳	182	14.3	14.8	24.7	20.3	8.8	1.1	29.1	5.5	8.2
	80歳以上	115	10.4	16.5	18.3	12.2	7.8	3.5	27.0	5.2	11.3
不明	23	4.3	26.1	30.4	8.7	-	-	34.8	-	30.4	

【回答傾向】

今後参加したい人権課題については、「4 高齢者に関する問題」が58.4%、「3 子どもに関する問題」が50.7%、「5 障がい者に関する問題」が44.1%、「12 インターネットによる人権侵害の問題」が39.5%、「2 女性に関する問題」が39.1%となっている。

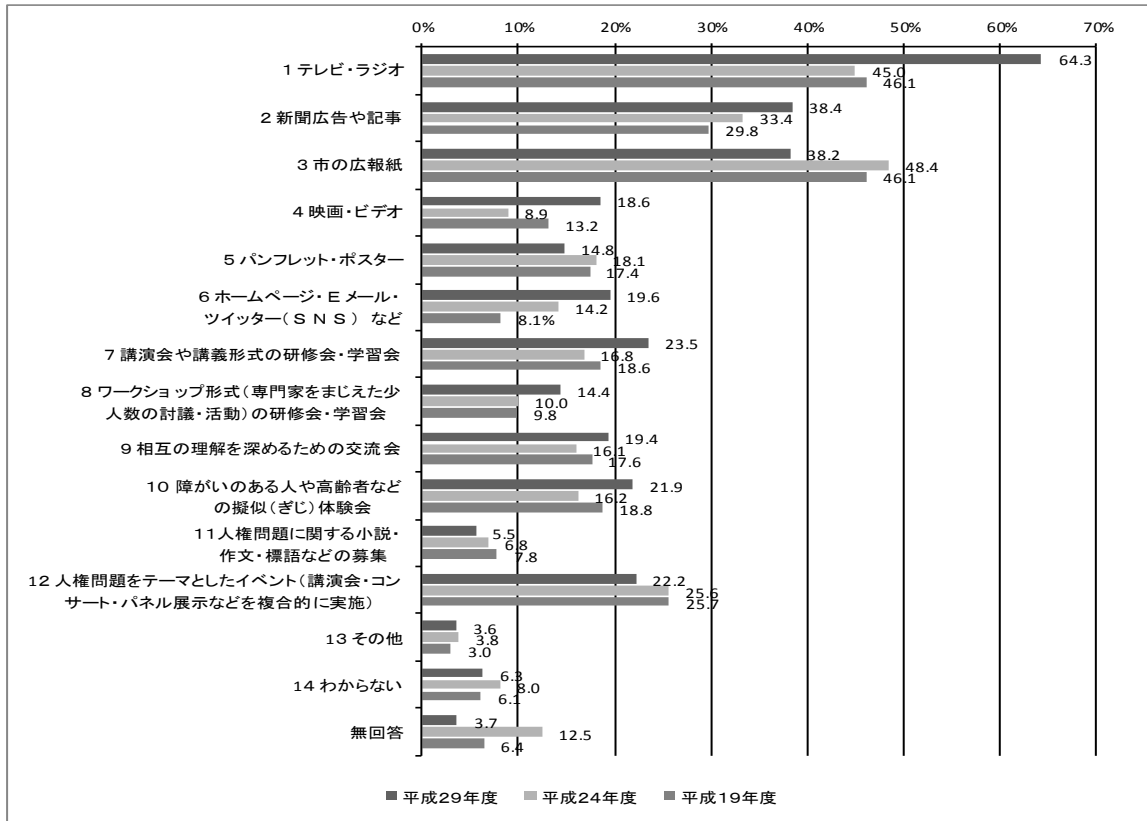
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 同和問題」（男性：27.3%、女性：16.5%）、「11 犯罪被害者等に関する問題」（男性：23.0%、女性：14.9%）、「7 外国人に関する問題」（男性：19.7%、女性：12.3%）、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「2 女性に関する問題」（女性：52.2%、男性：28.3%）、「15 性同一性障害者や同性愛者などのLGBTに関する問題」（女性：11.7%、男性：7.6%）、「3 子どもに関する問題」（女性：51.7%、男性：50.1%）となっている。

年齢別でみると、50歳代～80歳以上では、「4 高齢者に関する問題」の割合が高く、20歳代では「15 性同一性障害者や同性愛者などのLGBTに関する問題」29.2%、40歳代では「12 インターネットによる人権侵害の問題」51.9%、70歳代では「13 北朝鮮当局による拉致被害者及びその家族の人権問題」20.3%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

(2) 効果的な人権啓発広報活動

問27 あなたは、人権尊重の社会を実現するために、どのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)



■効果的と思われる啓発広報活動

分類	合計 (人)	1	2	3	4	5	6	7	8	
		テレビ・ラジ オ	新聞広告や 記事	市の広報紙	映画・ビデオ	パンフレット・ ポスター	ホームペー ジ・Eメール・ ツイッター(S NS)など	講演会や講 義形式の研 修会・学習 会	ワークショッ プ形式(専門 家をまじえた 少人数の討 議・活動)の 研修会・学 習会	
総数(N)	1,012	64.3	38.4	38.2	18.6	14.8	19.6	23.5	14.4	
性別	男性	527	62.4	41.9	40.8	18.6	14.8	20.1	26.6	15.7
	女性	462	66.9	34.4	36.4	18.6	15.4	19.5	20.1	13.4
	不明	23	56.5	39.1	17.4	17.4	4.3	8.7	21.7	4.3
年齢別	18~19歳	2	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	-
	20~29歳	48	52.1	20.8	18.8	29.2	16.7	29.2	27.1	20.8
	30~39歳	123	63.4	30.1	17.9	21.1	11.4	35.8	21.1	13.8
	40~49歳	156	66.0	27.6	27.6	23.7	12.2	32.1	21.2	22.4
	50~59歳	133	67.7	36.1	35.3	27.8	9.8	21.1	25.6	12.0
	60~69歳	230	65.2	43.0	44.3	13.5	17.8	15.2	24.3	13.5
	70~79歳	182	62.6	48.4	57.1	13.7	17.6	9.3	26.9	13.7
	80歳以上	115	66.1	46.1	48.7	12.2	18.3	5.2	19.1	9.6
不明	23	60.9	43.5	17.4	17.4	4.3	13.0	17.4	4.3	

分類	合計 (人)	9 相互の理解 を深めるた めの交流会	10 障がいのある 人や高齢 者などの擬 似(ぎじ)体 験会	11 人権問題に 関する小説・ 作文・標語な どの募集	12 人権問題を テーマとした イベント(講 演会・コン サート・パネ ル展示など を複合的に 実施)	13 その他	14 わからない	無回答	
総数(N)	1,012	19.4	21.9	5.5	22.2	3.6	6.3	3.7	
性別	男性	527	19.2	21.3	4.9	22.6	3.2	5.9	2.7
	女性	462	19.9	22.7	6.5	21.9	4.1	6.7	3.7
	不明	23	13.0	21.7	-	21.7	-	8.7	26.1
年齢別	18～19歳	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	20～29歳	48	22.9	33.3	4.2	14.6	4.2	2.1	2.1
	30～39歳	123	22.0	27.6	4.1	18.7	8.9	4.1	-
	40～49歳	156	20.5	25.0	3.8	25.6	4.5	5.1	-
	50～59歳	133	28.6	18.8	5.3	29.3	1.5	6.0	2.3
	60～69歳	230	15.2	20.0	5.7	25.7	1.7	6.1	4.3
	70～79歳	182	18.1	23.1	6.6	18.7	3.8	7.7	3.3
	80歳以上	115	13.9	13.0	9.6	15.7	2.6	10.4	9.6
	不明	23	13.0	21.7	-	17.4	-	8.7	26.1

【回答傾向】

効果的と思われる啓発広報活動について、「1 テレビ・ラジオ」が64.3%、「2 新聞広告や記事」が38.4%、「3 市の広報紙」が38.2%となっており、市の広報活動、マスメディアの活用が効果的とする回答が多い。次いで、「7 講演会や講義形式の研修会・学習会」23.5%、「12 人権問題をテーマとしたイベント（講演会・コンサート・パネル展示などを複合的に実施）」が22.2%となっている。

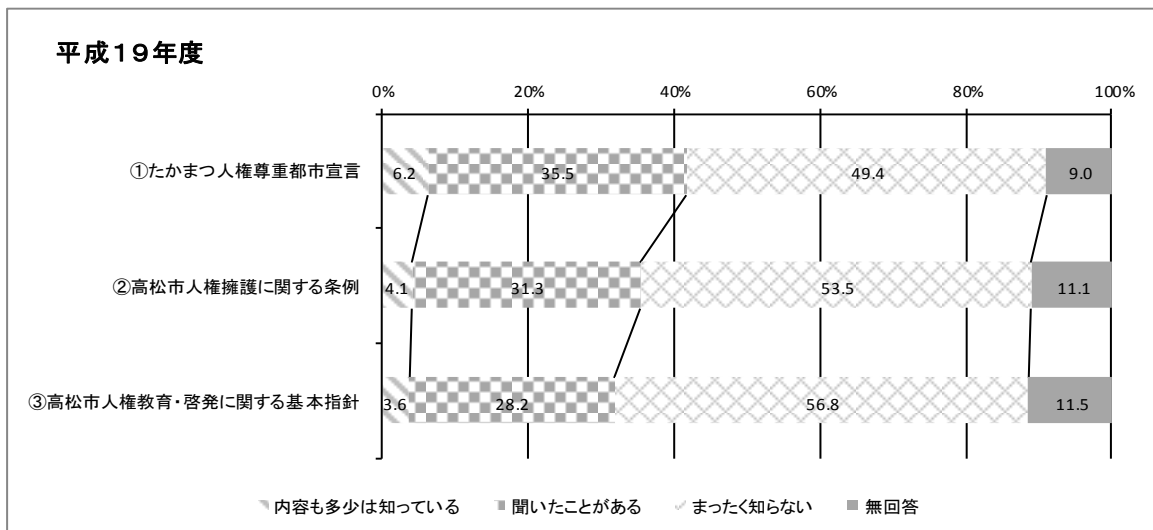
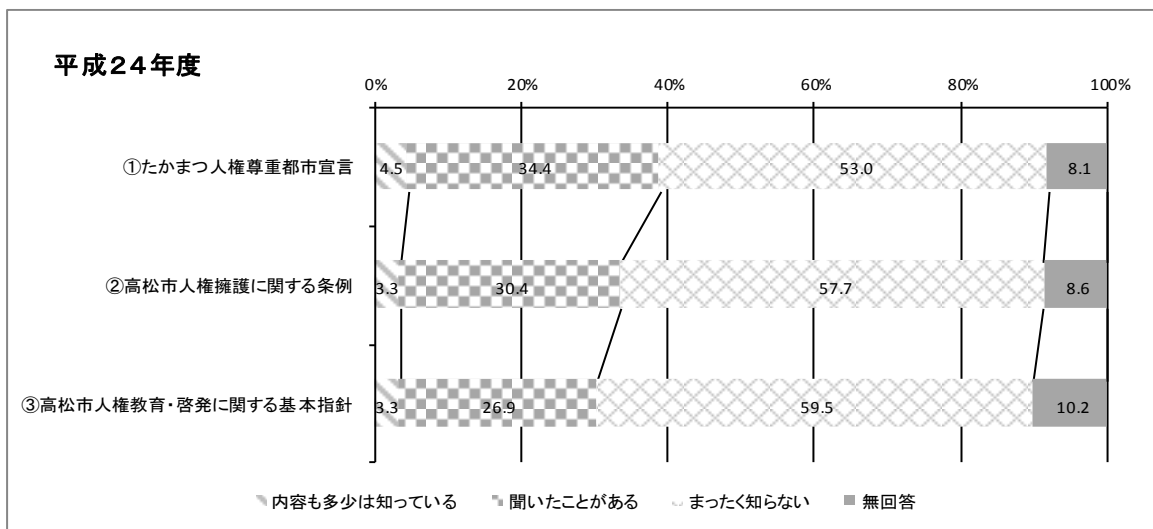
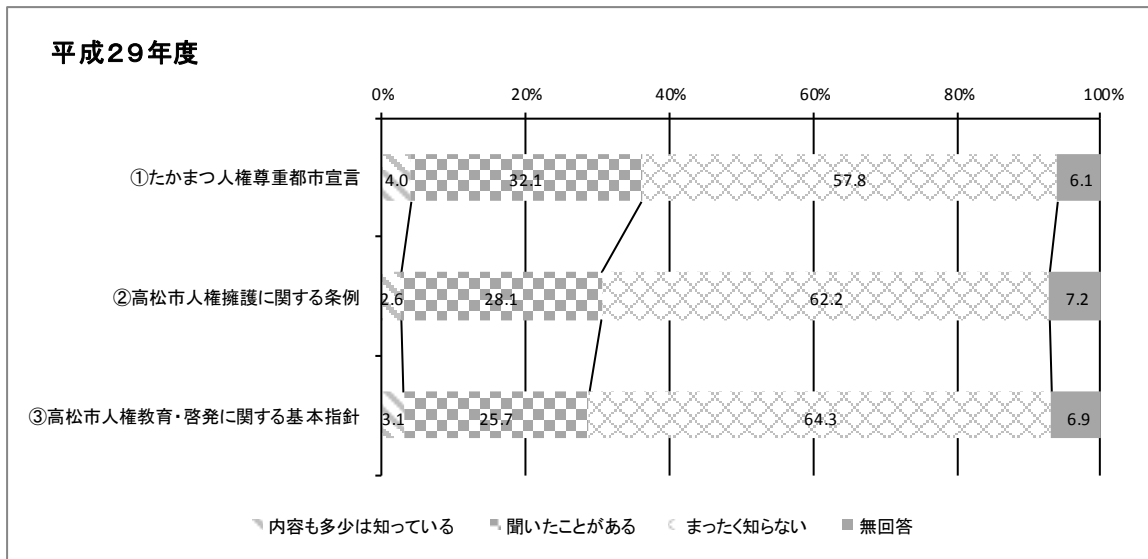
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 新聞広告や記事」（男性：41.9%、女性：34.4%）、「7 講演会や講義形式の研修会・学習会」（男性：26.6%、女性：20.1%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「1 テレビ・ラジオ」（女性：66.9%、男性：62.4%）、「11 人権問題に関する小説・作文・標語などの募集」（女性：6.5%、男性：4.9%）、「10 障がいのある人や高齢者などの疑似（ぎじ）体験会」（女性：22.7%、男性：21.3%）となっている。

年齢別でみると、20歳代で「4 映画・ビデオ」（29.2%）、「10 障がいのある人や高齢者などの疑似（ぎじ）体験会」（33.3%）、70歳代で「3 市の広報紙」（57.1%）と他の年齢層と比較して割合が高くなっている。

【分析】

(3) 人権に関する条例などの認知度

問28 人権に関する高松市の条例などをどの程度知っていますか。(〇はそれぞれ1つだけ)



■人権に関する条例などの認知度

①たかまつ人権尊重都市宣言

(%)

分類	合計 (人)	内容も多少は知っ ている	聞いたことがある	まったく知らない	無回答	
総数 (N)	1,012	4.0	32.1	57.8	6.1	
性別	男性	527	4.6	34.2	56.4	4.9
	女性	462	3.5	29.9	60.6	6.1
	不明	23	-	30.4	34.8	34.8
年齢別	18～19歳	2	-	-	100.0	-
	20～29歳	48	-	14.6	81.3	4.2
	30～39歳	123	0.8	16.3	82.9	-
	40～49歳	156	1.9	26.9	70.5	0.6
	50～59歳	133	4.5	19.5	74.4	1.5
	60～69歳	230	3.5	42.6	48.7	5.2
	70～79歳	182	6.0	45.6	41.2	7.1
	80歳以上	115	9.6	36.5	33.0	20.9
不明	23	-	30.4	34.8	34.8	

②高松市人権擁護に関する条例

(%)

分類	合計 (人)	内容も多少は知っ ている	聞いたことがある	まったく知らない	無回答	
総数 (N)	1,012	2.6	28.1	62.2	7.2	
性別	男性	527	2.3	30.6	61.3	5.9
	女性	462	3.0	24.7	64.9	7.4
	不明	23	-	39.1	26.1	34.8
年齢別	18～19歳	2	-	-	100.0	-
	20～29歳	48	-	20.8	75.0	4.2
	30～39歳	123	0.8	12.2	86.2	0.8
	40～49歳	156	1.3	23.7	73.7	1.3
	50～59歳	133	3.0	17.3	78.2	1.5
	60～69歳	230	2.2	35.7	56.5	5.7
	70～79歳	182	4.9	39.0	46.7	9.3
	80歳以上	115	4.3	32.2	39.1	24.3
不明	23	-	39.1	26.1	34.8	

③高松市人権教育・啓発に関する基本指針

(%)

分類	合計 (人)	内容も多少は知っ ている	聞いたことがある	まったく知らない	無回答	
総数 (N)	1,012	3.1	25.7	64.3	6.9	
性別	男性	527	3.4	26.2	64.5	5.9
	女性	462	2.8	24.7	65.8	6.7
	不明	23	-	34.8	30.4	34.8
年齢別	18～19歳	2	-	-	100.0	-
	20～29歳	48	2.1	20.8	72.9	4.2
	30～39歳	123	0.8	10.6	87.8	0.8
	40～49歳	156	1.9	24.4	72.4	1.3
	50～59歳	133	3.0	18.0	77.4	1.5
	60～69歳	230	3.5	32.2	58.3	6.1
	70～79歳	182	4.4	35.7	51.6	8.2
	80歳以上	115	5.2	24.3	47.8	22.6
不明	23	-	34.8	30.4	34.8	

【回答傾向】

人権に関する高松市の条例など認知度について、各項目の「内容も多少は知っている」、「聞いたことがある」を合わせると、「①たかまつ人権尊重都市宣言」は 36.1%、「②高松市人権擁護に関する条例」は 30.7%、「③高松市人権教育・啓発に関する基本指針」は 28.8%となっている。

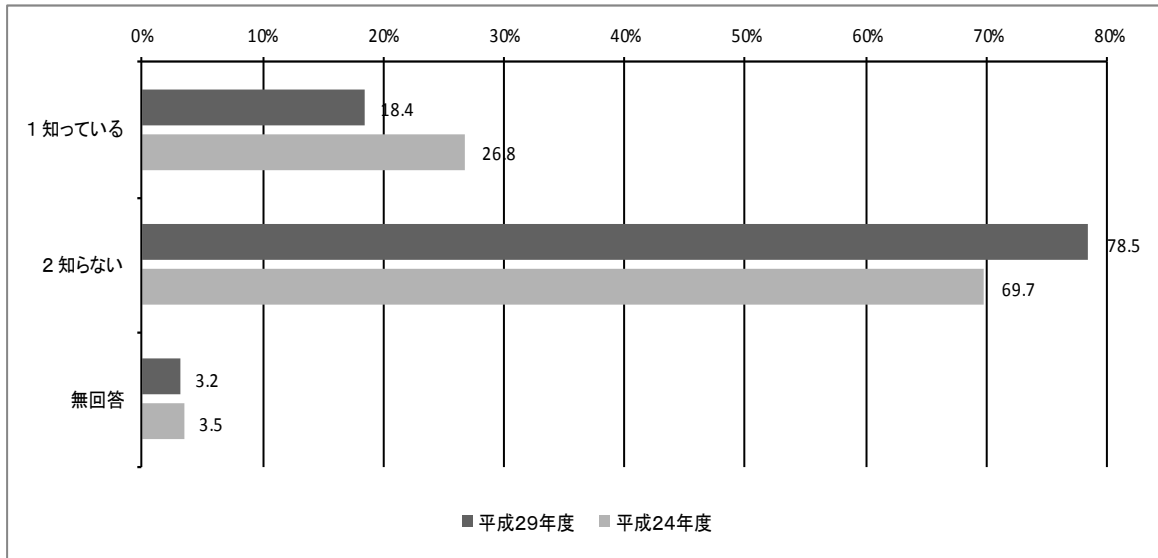
性別でみると、各項目の「内容も多少は知っている」、「聞いたことがある」を合わせた計は、いずれの項目も男性の割合が高くなっている。

年齢別でみると、各項目とも 60 歳代、70 歳代の認知度が他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

(4) 人権擁護委員制度の認知度

問29 あなたは、人権擁護委員の制度を知っていますか。



■人権擁護委員制度の認知度

(%)

分類		合計 (人)	1 知っている	2 知らない	無回答
総数 (N)		1,012	18.4	78.5	3.2
性別	男性	527	20.3	77.6	2.1
	女性	462	16.9	79.9	3.2
	不明	23	4.3	69.6	26.1
年齢別	18～19歳	2	—	4.2	—
	20～29歳	48	4.2	91.7	4.2
	30～39歳	123	6.5	93.5	—
	40～49歳	156	10.3	89.1	0.6
	50～59歳	133	18.0	81.2	0.8
	60～69歳	230	24.8	72.2	3.0
	70～79歳	182	23.1	74.7	2.2
	80歳以上	115	31.3	59.1	9.6
不明		23	4.3	69.6	26.1

【回答傾向】

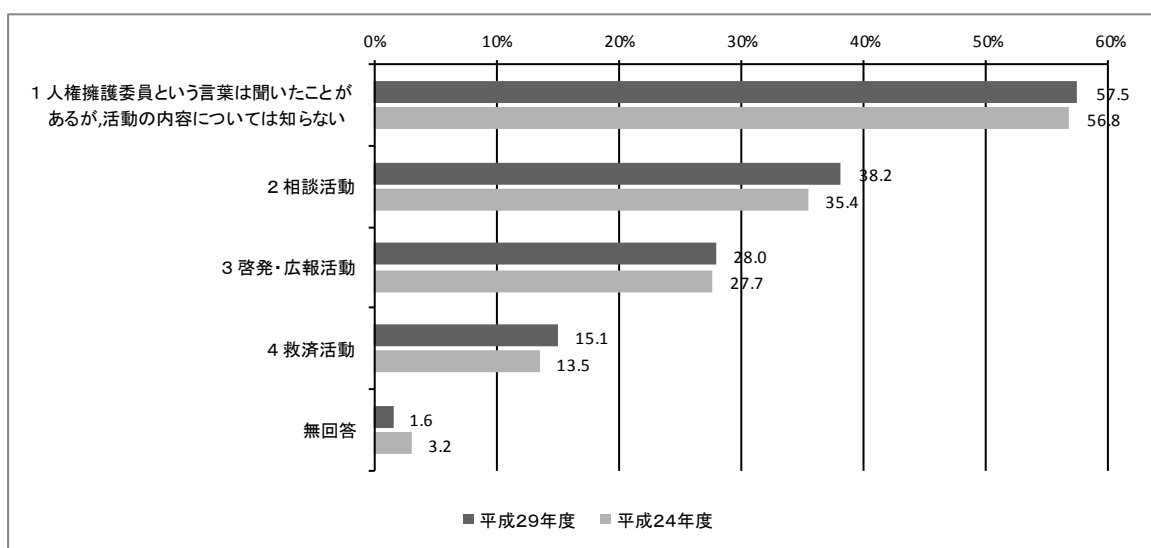
人権擁護委員制度について、「1 知っている」は18.4%、「2 知らない」は78.5%となっており、約2割の人に認知されている。

性別でみると、女性より男性のほうが「1 知っている」と回答した割合が少し多い程度で、大きな差異は見られない。

年齢別でみると、20歳代～30歳代では「1 知っている」が1割弱しかいないのに対し、60歳代～80歳以上では「1 知っている」と回答している割合が高く、年齢によって認知度に違いが見られる。

【分析】

問29-1 問29で1を選ばれた方にお尋ねします。人権擁護委員の活動について、あなたが知っていることを選んでください。(〇はいくつでも)



■人権擁護委員の活動

(%)

分類		合計 (人)	1 人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない	2 相談活動	3 啓発・広報活動	4 救済活動	無回答
総数 (N)		186	57.5	38.2	28.0	15.1	1.6
性別	男性	107	55.1	39.3	32.7	12.1	2.8
	女性	78	61.5	35.9	20.5	19.2	-
	不明	1	-	100.0	100.0	-	-
年齢別	18～19歳	0	-	-	-	-	-
	20～29歳	2	50.0	50.0	50.0	-	-
	30～39歳	8	62.5	12.5	25.0	12.5	12.5
	40～49歳	16	43.8	43.8	18.8	25.0	6.3
	50～59歳	24	41.7	45.8	29.2	8.3	-
	60～69歳	57	57.9	35.1	28.1	22.8	-
	70～79歳	42	59.5	45.2	35.7	16.7	2.4
	80歳以上	36	72.2	30.6	19.4	2.8	-
	不明	1	-	100.0	100.0	-	-

【回答傾向】

人権擁護委員の活動について、「1 人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない」57.5%、「2 相談活動」38.2%、「3 啓発・広報活動」が28.0%、「4 救済活動」15.1%となっている。

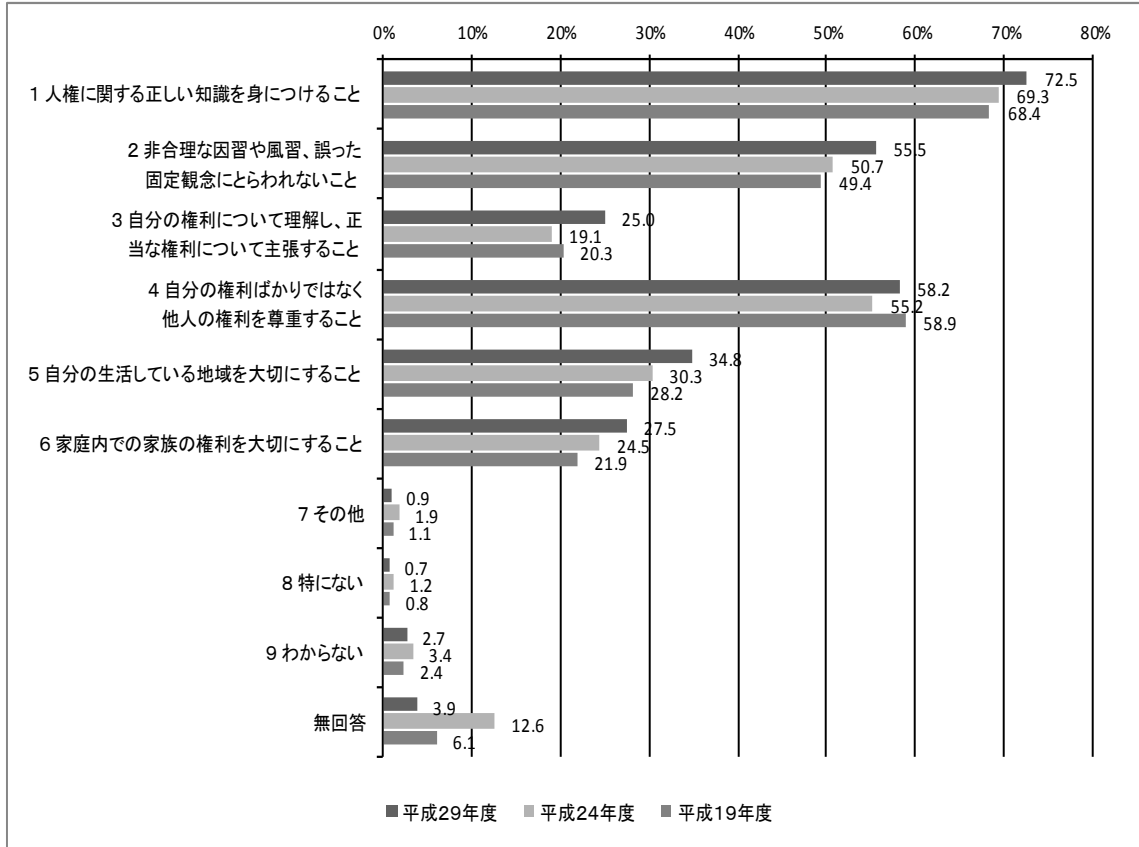
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい項目は、「3 啓発・広報活動」（男性：32.7%、女性：20.5%）、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「4 救済活動」（女性：19.2%、男性：12.1%）、「1 人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない」（女性：61.5%、男性：55.1%）となっている。

年齢別でみると、「1 人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない」と回答した人は80歳以上で72.2%、「4 救済活動」は40歳代が25.0%と他の年齢層と比較して割合が高くなっている。

【分析】

(5) 心がけるべき行動

問30 人権尊重の社会を実現するには、市民一人ひとりが、どのようなことを心がけて行動すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



■心がけるべき行動

(%)

分類	合計 (人)	1 人権に関する正しい知識を身につけること	2 非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと	3 自分の権利について理解し、正当な権利について主張すること	4 自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること	5 自分の生活している地域を大切にすること	
総数 (N)	1,012	72.5	55.5	25.0	58.2	34.8	
性別	男性	527	73.4	55.8	26.0	62.8	38.0
	女性	462	74.5	57.8	24.9	55.4	32.5
	不明	23	13.0	4.3	4.3	8.7	8.7
年齢別	18～19歳	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0
	20～29歳	48	77.1	72.9	39.6	50.0	22.9
	30～39歳	123	73.2	56.9	28.5	64.2	31.7
	40～49歳	156	76.3	55.8	17.3	53.8	19.2
	50～59歳	133	75.9	58.6	26.3	60.2	27.8
	60～69歳	230	73.9	56.5	24.3	64.8	36.1
	70～79歳	182	69.2	56.6	20.9	54.4	50.0
	80歳以上	115	75.7	47.8	35.7	60.9	50.4
不明	23	8.7	8.7	4.3	8.7	8.7	

分類	合計 (人)	6 家庭内での家族の権利を大切にすること	7 その他	8 特にない	9 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	27.5	0.9	0.7	2.7	3.9	
性別	男性	527	27.5	0.6	0.9	2.3	1.7
	女性	462	28.4	1.1	0.4	3.2	2.2
	不明	23	8.7	4.3	-	-	87.0
年齢別	18～19歳	2	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	29.2	4.2	-	6.3	2.1
	30～39歳	123	24.4	0.8	0.8	1.6	0.8
	40～49歳	156	21.8	1.3	0.6	1.9	0.6
	50～59歳	133	24.1	1.5	-	1.5	2.3
	60～69歳	230	21.7	0.4	-	2.2	1.3
	70～79歳	182	35.2	-	1.6	3.3	2.7
	80歳以上	115	44.3	-	1.7	5.2	4.3
	不明	23	4.3	4.3	-	-	87.0

【回答傾向】

人権尊重の社会を実現するために、市民一人ひとりが、心がけて行動すべきと思われることについて、「1 人権に関する正しい知識を身につけること」が72.5%と最も高く、次いで「4 自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること」が58.2%、「2 非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと」が55.5%、「5 自分の生活している地域を大切にすること」が34.8%、「6 家庭内での家族の権利を大切にすること」が27.5%、「3 自分の権利について理解し、正当な権利について主張すること」が25.0%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「4 自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること」（男性：62.8%、女性：55.4%）、「5 自分の生活している地域を大切にすること」（男性：38.0%、女性：32.5%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「2 非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと」（女性：57.8%、男性：55.8%）となっている。

年齢別でみると、10歳代は全項目で割合が高く、「5 自分の生活している地域を大切にすること」は80歳以上が50.4%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】